

東京中学記録

8月19日(月)

お盆過ぎだが、残暑の一日。160人を超える先生方が集まり、中学先生向けの夏の経済教室が開催される。主催者挨拶のあと一時間目の講義に入る。

### 1 時間目 小巻泰之先生講義「中学教科書で教える〈景気ってなんだろう〉」

基本的内容は大阪会場と同じ。大阪の記録を参照してください。

最初に、各会場で行っているアンケートを行う。

アンケート1：株価の予想を挙手で行う。

1万円以下	11
1万1500円	50
1万2000円	34
1万2000円以上	26

アンケート2：小遣いが増えたらどうする？

① 37 ② 60 ③ 21 計 118

#### 1 景気とは何か

景気は定義できるかという質問を大阪で受けた。しかし、景気とは総体的な経済活動の変動のことであり、定義は様々である。また、景気は見えないものであり、それを定義するのは難しい。一般的には、景気変動との連動の強い経済データで推定している。その例として失業率の推移がある。現在は失業率から見ると景気は良くないことがわかる。景気に関連してバブルも資料集などに掲載されている。

教科書では景気変動の原因の説明が省略されている。したがって、暗記ではなく、生徒に興味を持たせることは教材などへの配慮が必要になる。

#### 2 景気はどのように変動するのか

以下はパワーポイントの資料を使って説明が加えられる。

景気変動を大きくする原因は、設備投資にある。設備投資は将来の予測で行われる。しかし、私たちは将来を予測できない。予測は、他者の意向で変動してしまうという二つの特徴がある。

設備投資は、一度計画を決めると、途中で経済が変動しても途中で変更ができないという特徴も持つ。

ここからは、桜修館中等教育学校の前期生(中学生)にやったアンケートと比較する。また、名古屋、大阪、福岡の数字と比較する。

東京の株価予想は、大阪の予想と近い。過去の情報に引きずられて予測する人が多い。また回りの人の影響を受ける。

小遣いの使い方では、現在の所得を重視するのか、将来の安定的な消費を重視するか

がここから伺える。中学生の場合、楽観的なクラスと慎重なクラスの差が大きく出た。

名古屋と福岡は慎重である。大阪はやや消費型。今日の東京も大阪と同じ傾向が出た。大学生でも毎年やっている。大学生の場合は、景気に大きな影響を受けている。いいときは①の消費が増える。悪いときは①は減ることが明確に出ている。最近では、②、③を考える大学生が増えてきている。

### 3 景気変動はコントロールできるか

現在の日本経済では、企業経営者は設備投資に関しては慎重である。家計も消費に慎重である。

現在の景気をコントロールできるかという質問に関しては、できないというのが答えである。なぜなら私たちが消費に慎重だからだ。景気対策がきかないのは私たちの考え方にも一因がある。

アリとギリギリスの話が、ここでは使える。

アリになれない若者が増えている 途中で就職活動をやめた人間も入れると、就職率は65%くらいである。現在は、意図しなくてギリギリスにならざるをえない若者がでてきている。年金も保険も払えない人間がでてきている。そのような若者が、高齢化したらどうするか。アリが助けるという話や、そのままだまって死ぬというわけにはならない。

平成版アリとギリギリスの話の結末は、ギリギリスがアリを襲撃するようになるかもしれない。

将来期待が弱いと、投資も消費も増やす気がしない。しかし、景気対策はそれほど簡単にはゆかない。

### 4 バブルの話（景気が良くなる時の話）

パワーポイント資料をもとに説明を行う。

バブルはどうして発生するか。日本の場合は、円高対策による資金供給が拡大している中で、企業や家計の期待が大きく変化した。バブル発生前夜では、円高によりドル評価でみた日本の価値が急増し、大国意識（自信過剰）が生じた。また、株価や地価の上昇から不労所得（NTT株の例）への憧れが強まり、財テクが流行る状況となった。当時、こうした状況を「金余り」と言われたが、お金が余っているわけではない。資金需要で実物の投資に向かうのではなく、金融資産に向かう資金需要は実際の企業の成長力を向上させるものではないことから、お金があまる現象と捉えられていたと考えられる。

この二つを区別することがあるが、お金としては全く同じ。また、余ったお金が投機にまわったという言い方があるが、おかねは余っているわけではない。

バブル期の将来予測は、ばら色の将来予測だった。しかしバブルは必ず崩壊する。

アベノミクスはバブルにならないと思う。理由は、バブルの最中にバブルといわれることはない。バブルは終わってからわかる。その意味では、今回は企業も家計も慎重。バブル経験者がいまは中堅になっているから対応可能なこともある。

今回の期待は、長く続いたデフレの閉塞感からの解放期待である。バブルとはいえないくらいの上昇であるが、変動が大きくなっている。

学校で生徒にこれからどうなるかを予測させてみると面白いかもしれない。男女差などができるかもしれない。

ちなみに、大学生は行動様式は大きく変わったように思われる。男子学生がいわゆる草食系となっている。こんなところからも経済に興味を持ってもらえるとよいと思う。

## 質疑

- 1 6枚目のスライドで、消費より投資の方が変動が大きいですが、税制の変更では消費と投資とどちらの方が影響あるのか？ 減税などの関係から教えて欲しい。

答え 税制との関係でいえば、消費税をあげると実質的な購買力が低下し、必ず消費は減る。一方、法人税の引き下げは投資を増加させる影響はあると考えられるが、法人税を払っている企業は少ない。全体の7割の企業は法人税を払っていない。法人税を支払っている企業では資本金1億以上の企業（いわゆる大企業）が過半を占めている。所得税も同じ。非課税世帯が3割である。したがって、景気対策で所得税や法人税を下げても効果は一部には行き渡らない。一方、企業が投資にお金を回してもらえるように制度を変えると良い（償却を早くするなど）。ところが、現在、企業はキャッシュフローが潤沢にある。その意味で法人税の減税は景気対策には有効性は小さいと考えている。

財政の観点から言って、消費税は上げざるを得ない。でも景気にはマイナス。悩ましい問題である。

## 2時間目 升野伸子先生＋栗原久先生「新教科書の比較から教材研究のヒントをゲット」

升野先生の提案



新しい教科書から教材研究のヒントを提案したい。

「楽しんで、深い教材」の発見を目標にしたい

### 1 教科書比較することのすすめ

新しく教材開発をするより、中学教科書を利用するとよい。

導入単元の例、東書を見る。ここで何ができるか、何を伝えられるか、これは指導書にある。でも、逆にここからでは、できないことはなんだろうかと考えてみて欲しい。使っている教科書に書いてないことを発見するには、よその教科書を参照（カンニング）すればよい。

例えば、日文の導入部分。休日の予定を考えさせるもの。ここから経済はお金だけじゃないというヒントを得ることができる。清水はマイクロファイナンス、帝国はお金の話からはじまっている。それぞれこんな風に導入することもできるのだという、ヒントになる。

実は、政治の導入部分は、会社によってほとんど変わらない。でも経済は各社で大きく変わる。それを使って教材開発のヒントを得ると良い。

### 2 教材研究は5W1H

どの単位にも必ず出ている内容を見つけておくことも大切。それが分かると、教科書の流れが使いづらい、流れが違うよというときには、後でやったりプリントで簡単に処理することもできる。その意味でも、教科書比較はおすすめ。その際、5W1Hを確認しながらやって欲しい。

どうやって、どの教材を使うか？

冒頭に出てくる、経済活動の意義の項目は、経済学者によっても見解が異なる部分である。それを知っておくだけでもよい。

希少性と選択の箇所では、東書では選択させるものは二か所ある。オーディオプレーヤーの選択か、家計の選択の場所。どちらでやるかは授業の流れとの関係が重要。どちらか一方を選んでよい。他社の事例を入れても良い。

家計の収入と支出に関しても。各社各様の扱いをしている。資料も異なっている。自分の使っている教科書で足りないところ、抜け落ちているところを他社の教科書から補充することができる。

### 3 どんな授業をやったのか

話し合いと思考の授業の例

今使っている清水書院の教科書の家計の箇所で使う。データをグループで読み取らせどんなものでもよいから発表させた。それを整理しながら、疑問や重要な指摘を取り上げてゆく。いろいろなことを生徒が言う。なぜそうなっているのかの背景を探らせるという授業もある。

統計の作り方、その特色や注意点を数学の学習（平均値と中央値の違いなど）とリンクさせることも可能である。統計資料を見るときには、生徒の疑問や指摘に対して、下調べが必要になることもある。新しい資料（ネットから収集）を提示して指摘をすることも行う。

入試問題を使って授業のしめくくりをすることもできる。事例でとりあげたのは千葉県の入試問題。年代別の家計支出の内訳である。教育費のライフステージ別の変化を読み取らせて、ほめてあげることもできる。

第四ステージがなぜこんなに多いのかという問題を提起テストで出したが、最初は、殆どできなかった。授業でやって、解説をするなどしてできるようになった。でもこういうデータの利用の仕方を工夫することをすすめたい。

このように、他社の資料を比較することで授業のヒントを見つけて欲しい。

#### 補足

本日の机上にある教科書の分配方法。参加の先生方の数に対して用意された本がたりなかったので2人1組で分けるようにした。仲良くわけっこするにはどうしたらよいかは隣の先生と考えてみてください。いろいろな方法があると思います。

もう一つ資料の補足。歴史の先生が授業で作らせたプリントを紹介する。出席番号順にあてて、教科書のページを図示しなさいという課題で生徒が作ったプリントである。それを説明させ冊子にしてゆくという授業をやった先生の事例。参考にしてください。

#### 栗原先生のコメント

基本的な内容は大阪でのプレゼンテーションと同じなので、大阪の記録を参照して下さい。

#### 新しい内容として

コンサートの事例を加えている（コストの事例 サンクコストの事例）。先生方に問題を出しながらすすめる。

これは 三分の1くらいの先生が②を選んだ（比較的理解されている）。

これは企業の設備投資が途中でやめられないのと同じである（小巻先生の話を受けたもの）。

活用は難しい、の箇所での、花と種の問題。

チューリップに種はあるか、ジャガイモに種はあるかの設問に、かなりの先生が間違えた。理論を教わっても経験で違うとおもってしまっている。

会場は、ほーっという雰囲気になった。

### 3時間目 真壁昭夫先生講演「中学生に教えた最近の日本経済・世界経済」

はじめに

やさしく経済の話をしたい。皆さんと一緒に勉強したい。

銀行にいた。そこで25年間くらいディーリングをやっていた。そのくせで、熱中すると早口になってしまう。早すぎたらストップをかけて欲しい。また、分かったらうなずき、わからないときは首を曲げてもらえると、話がすすみやすい。



講演する真壁先生

#### 1 経済とは何か

先週の高校の内容と同じ。

#### 2 金融と金融市場

金融市場には株式市場や債券の市場がある。為替市場もある。株式市場は建物があるが、債券や為替には建物があるわけではない。ディーラーをブローカーが仲介するような電信でつながれた市場である。

株式市場では、将来儲かると考えると株を買う。ここは、究極民主主義の場である。お金という希少な資源を最適配分する場である。売りたいという人間と買いたいという人間が出会い、投票とおなじようにぶつかる場。出会うと言っても、注文は証券会社を通す。株価は、売りたい人と買いたい人の希望する値段が均衡しているところで値段が決まっている。北で買いたい人も、南で売りたい人も強制でなく、自分の考えで行動している。

これが市場の役割。とても重要な場所だとおもう。一番効率的に使ってくれる人が買ってくれる。価格の変化によってみんなが動く場である。だから究極民主主義。

市場は多くの人に参加するから、時々間違えるけれど、長期的には間違いがない場所である。政治は間違えるけれど（ナチのケースなど）市場はあまり間違えない。うまくできている仕組みである。短期的に間違えることもある。ただ、長い目で見ると資源を分配する役割を果たしている。

失敗のケースはないのか。それはある。

バブルは失敗の一つである。金融工学という言葉を知ったことのない先生が多数のようなので今日は、簡単な金融工学の話からしたい。

こんな事例を考えて欲しい。トヨタの配当が今年は10円だった。これが儲かって来年20円になるとする。来年の株価は上がるか、下がるか？ ほぼ全員が上がると正しく予測で

きますね。これが金融工学の基礎である。このように、経済学は難しくない。買いたい人が多くなれば値段は上がる。それさえ分かればよい。

バブルがなぜおこるのか。チューリップのバブルを例とする。買いたい人間がでてお金  
が投げられるとバブルになる。このときは、チューリップ一個が家一軒と同じになったと  
いう記録がある。

バブルの例をデータで確認したい。1985 年の日本の例。上がるから買う。買うから上が  
るということがおこった。

バブルは 3 倍になったら逃げろ。これは役立つ。私もこれで助かったことがある。もち  
ろん失敗もある。ファンドマネージャーのとき、大損をした。上司に呼ばれて、お前銀行  
を潰す気か？と問われたこともある。

株価は GDP と基本は平行に動くことになっている。企業業績の集積が GDP なのだ  
から、成長率と同じになるはず。株価も同じに動く。それが同じに動かないで急激な上昇  
がある場合はバブルである。

バブルはお金が余っているときに起こる。東証の一部の時価総額は約 400 兆円。それに  
10%のお金 40 兆円が注ぎ込まれると、株を買いたいという人が増えたことになる。そう  
なるとバブルが始まる。

アベノミクスでは、おかねの量を 140 兆円から 270 兆円にするという。これは危険だ。  
それをやろうとするのが今の政策。沢山お金が出たら価格が上がる。でもお金の価値は下  
がる。それをやろうとするのが黒田さん。

バブルはおかしいと気付く。3 年くらいするとおかしいと気付く。そうなるといっせいに  
売り出す。それが崩壊。なぜ 3 年なのか。人間のあたまが冷静（正気に戻る）になるのが  
そのくらいの時間だからである。

日本のバブルでは、1989 年ごろからお金を絞りを始めた。それで崩壊。

アメリカは、IT バブル。それを不動産バブルが引きついた。そのバブルがグローバル化  
で世界中に広がった。不動産バブルが崩壊する。そこで起こったのがサブプライム問題。

(このあたりは同じ内容に戻る)

バブルが崩壊すると、企業や銀行はストック調整をする。不良債権の処理問題の発生で  
ある。

日本のケースでは、2002 年に本格的な不良債権処理を行った。そのきっかけとなった金  
融危機が 1997 年。だから、2002 年 - 1997 年 = 5 年で、ストック調整の期間は 5 年とわかる。

アメリカのケース。バブルの後始末が終わった。上の式でいえば、2008 年 + 5 年で、今  
年 2013 年がストック調整の終わった年となる。その意味では、ヨーロッパはまだストック  
調整は終わっていない。

### 3 2013 年の世界経済の展望

(以下、先週の高校と同じなので、そちらのまとめを参照してください。)

ユーロ

中国

日本 と話が続いた。

日本企業の現場力は信じるに足りる。例、大震災後の茨城のルネサスの工場。予想よりも早く回復した。それはすごいものだ。

日本の企業くらい精巧で、しっかりしたものを作り、納期を守る企業はない。その良さを生かして活躍することが大事だ。それをぜひ言っておきたい。

## 質疑

1 島耕作を読んでいるが、インサイダー取引のどこが反則かがわからない。そんな情報はもれるのでは？

答え インサイダー情報という自分しか知りえない情報を知って取引をしてはいけないということ。株式価格は売り手と買い手が同じ情報を持っていて売買することでフェアな取引ができる。ところがインサイダーだと、公正な価格形成ができない。先回りして買ったらずるい。これを口で言うのは簡単。でも証明するのは難しい。

2 空売りはどうなのか？

答え 持っていない株や為替を売る行為をいう。例えば、ソニーとパナソニック。パナソニックが下がりそう。つられてソニーも下がりそうと言う時、パナソニックの運用を任せられているファンドマネージャーは、ヘッジのために持っていないソニー株を先に売るということをする。持っていないのだから、証券会社から借りる。ソニーが今 2000 円とすると、ここで売る。予想通り 1500 円になった。ここで買戻しをして決済する。そうすると 500 円が儲けになる。ヘッジできた。

これは、卑怯ということよりも、相場の売買の厚みを増やすことになると思う。もし、空売りが許されないと、リスクがヘッジできない。市場における必要な機能である。空売りがあっても、買いたい人間と売りたい人間がでるから取引が成立する。つまり、ゼロサムのニュートラルになる。ヘッジファンドには悪者もいるが、取引そのものはニュートラルである。

## 4時間目 河原和之先生＋西村理先生「経済の授業をエコノミストと作る＜経済学を楽しいネタに変える＞」

河原先生の提案

東大阪で格闘した時代の授業を紹介したい。



提案する河原先生

## 1 学力差のない授業とはなにか

すべての生徒が参加しわかる授業を。いろいろな生徒がいる。それを引き付けるには、知識を前提とした授業ではなく、さらなところで興味を持たせることが必要。

教師の視点ではなく、子どもの視点から見た授業を作る。

例：ジャマイカはなぜ陸上が強いか？という質問をする。そうすると、先生教えてとなる。福島県の子どもの運動能力はどうなのか？ここから経済の話をもってゆくこともできる。

うそ、ほんとの驚きの授業をこころがける。

キャラメルのみぞは？ 昔は砂糖の値上がりに応じて変化させた時代もある。いまはやっていない。

甲子園のビールは？という質問。答えは、アサヒ。理由は系列だから。では、オリンピック球場は？サントリー。東京ドームは？全部だそうだ。

なるほどそうだったんだ、納得できる授業を。

娘が結婚した。その時思ったこと。タキシードは安いのにウエディングドレスはなぜ高い？ 市場の原理が反映しているのでは。タキシードは種類がすくない、ウエディングドレスは種類が多い。こんなことも授業のネタになる。

常識が揺さぶられる授業を。

ドイツのインフレの例。まじめ兄、ぐーたら弟。10年後まじめ兄は貧乏、弟は金持ち。何故なんだろう。答え、貯金した兄、借金した弟。インフレで得したのはどちら。

思考に対立と葛藤を生む授業を。

これは、のちに紹介する。

このような視点にたって、多様な方法を駆使する。

ものを有効につかうこともやる。

例えば、リカチャン人形のちがいがい。かばんの大きさが違う。理由は、PL法。

サララップがなぜ増えていったのか。実物を持ち込み考えさせる。女性の社会進出によって電子レンジの普及を発見させる。

歌って楽しく授業をすることもある。

例えば、クーリングオフの歌。「ある日突然誘われて、…」

経済だけでなく、このような授業は憲法でも可能である。

授業は楽しまなくてはいけない。でも、これは習得。その先に探求、活用がある。

## 2 東京ネタ三つ

せっかく東京に来たので、東京ネタを用意した。

- ① 東海道新幹線のグリーン車ネタ。グリーン車が 1000 円は高い？安い？
- ② スカイツリーの展望台の値段は 3000 円。なぜこんなに高い？都庁はただだぜ？  
答え、 並んで時間を浪費するより 3000 円でもよい。
- ③ 東京の地下鉄はなぜ安い？大阪は高い？ 生徒は、利用者が多いから、JR との競合などの答えを言う。調べると、東京だけでなく、大阪、名古屋が安い。そうすると答えは人口？ 多分、インフレの前に作られている。利子返却がしやすいからと広げることができる。

## 3 経済入門 君が鉱山事故にあったら

グループ討議をさせる。

ルール作りまで考えさせる。

実際に起こったことだということでビデオを見せる。

私たちが学ばなければいけないことは何か、最後にフルフォードの言葉を投げかけてまとめる。

## 4 ゲームで楽しく授業

投資ゲームを実際に試みさせる。

リスクとリターン、どこにかけると問い、シートに記入させる。

恋愛と投資の似ていることなどを関連させて話す。

## 5 消費税アップと生徒の討論

消費税と TPP をクロスさせて討論させた例である。

消費税は自由に討論。TPP はロールプレイにしてゆく。

最初は役割をふって討論。その後に 15 歳の意見というかたちでまとめる。

全政党に手紙を書いた。名前をあげて返事が返ってきた。

## 6 まとめ

習得は楽しくおもしろく。

その知識を使って考える。

最後は悩ましく、これから考えたらいいよという授業を目指している。

## 西村先生のコメント



大阪部会でいつも面白い報告をもらっている。河原先生の書かれた、『『中学公民』ウソホント？授業』読んでください。

河原提案を経済学から読み解いてみる。

「東京ネタ」について。

グリーン車の事例では、料金の決まり方について需要サイドの理由か、供給サイドの理由かを頭に入れておくと整理しやすくなる。その際、需要と需要量、供給と供給量を区別して欲しい。

そこで、需要関数と供給関数について話す前に、関数について話をしておきたい。

「火のないところに煙はたたない」という諺があるが、この因果関係を数学では関数関係と呼ぶ。

火は原因で、それを説明変数と言い換えて、火を記号  $x$  で表す。

煙は結果で、それを被説明変数と言い換えて、煙を記号  $y$  で表す。そして、 $y = f(x)$  で表したのが関数関係である。

似たような諺に、「鶏が先か、卵が先か」があるが、これは、どちらが原因でどちらが結果か決められないので、因果関係ではなく相関関係にあると言う。

「火勢」と「煙量」の関係に注目する。両者の関係性から、火勢( $x$ )が増えたとき、煙量( $y$ )が増えれば増加関数、煙量( $y$ )が減れば減少関数になる。

説明変数が増えると、関数関係は  $x$  だけでなく、その他の説明変数  $v$  や  $w$  を加えることによって  $y = f(x, v, w)$  と書き換えればよい。

それをグラフで描くとすれば、ここでは4つの変数があるが、2つの変数をシフト・パラメーターとして扱えば、2次元の図で描くことが可能になる。

さらに、 $x$  と  $y$  の定量的な関係を把握しようとするれば、具体的な関数の形に特定化する必要がある。この関数の知識を基にして需要関数を説明する。

ある財の購入に影響を与える要因には、当該財の価格、関連財の価格、消費者の所得、および、嗜好などその他の要因がある。

ここから「需要の変化」と「需要量の変化」の違いが出てくる。グラフで確認してほしい。当該財価格の変化で生じるのが需要量の変化で、シフト・パラメーターの変化で生じるのが需要の変化になる。

供給関数も同じ。当該財価格の変化が供給量の変化を、シフト・パラメーターの変化が供給の変化を引き起こす。

この理解を踏まえて、河原実践の振り返りをしてみると良い。

最後に一言。「投資ゲーム」の話について。投資と恋愛は似ていると言うが、これを面白く授業するには先生のキャラに依存する。河原先生だから面白く授業のネタになることかもしれない。私は無理である。

一日目は以上

記録・文責 新井